

## 講演会のご案内

新潟薬科大学  
健康推進連携センター

新潟薬科大学・健康推進連携センターでは、2015年より「薬剤師という職業を様々な視点から考えるための講演会」をシリーズで開催しています。身近な話題から突拍子もない話題まで様々なテーマで、薬剤師について語りつくそうという趣旨で企画をしています。

本年は、二回の講演会を予定しておりますが、第一回目の今回は、薬局冬の時代といわれる現代の状況について、新旧のオピニオンリーダーをお迎えして、総合討論を実施したいと思います。

一人目は、若手経営者のホープとして名高い阪神調剤グループの岩崎英毅氏にご登壇いただきます。薬剤師としての誇りを胸に、調剤薬局チェーンのこれからについて忌憚ないご意見をいただきたいと思います。

二人目は、新潟県薬剤師会で副会長を務める傍らで、日本薬剤師連盟の幹事長として、日本の薬剤師と薬局の未来について精力的に政治活動に身を投じられている荻野構一先生に、主として開局薬剤師のお立場から将来ビジョンについてお伺いしたいと思います。

薬局と薬剤師の未来は、我々の未来そのものであり、その具体的なデザインが我々の意識にしっかりと根付くことでしか、この冬の時代を乗り切ることはいかなるでしょう。AIを含めた情報技術の発展は我々の脅威になるのでしょうか？脅威ではなく、進化する情報技術と協働することで、より高次のファルマシューティカルケアを提供していく可能性はどこにあるのでしょうか？そうした課題についてディスカッションを深めたいと考えて居ます。ぜひともご来聴ください。

## 記

期日 平成30年7月5日（木） 13時00分～14時30分

会場 新潟薬科大学 新津キャンパス B103 講義室

講師 岩崎 英毅（阪神調剤ホールディングス取締役執行役員 学術担当）

神戸学院大学薬学部卒業 阪神調剤薬局グループの創始者の次男。大学卒業後、第一製薬にてMRを経験。その後、阪神調剤グループに入社。主として、薬剤師生涯教育、新店出店計画などに従事し、現職。現在は、阪神調剤グループの薬剤師派遣事業も担当し、子会社の社長を務める。

荻野 構一（新潟県薬剤師会副会長・日本薬剤師連盟副会長）

東京薬科大学薬学部卒業。新潟県新潟市内で調剤薬局を経営する傍らで、日本薬剤師会、新潟県薬剤師会にて多くの委員を歴任。新潟県内では、診療報酬改定にかかる講演会を複数こなし、保険制度はもちろん制度改革などの微妙な政治問題にも通じていると評される政策通の薬剤師。

以上